

## 薬事委員会決定事項

薬事委員会 書記  
薬剤部 木村 初、富士谷 昌典

2023年4月28日の薬事委員会で以下の薬剤について決定いたしました。他の事柄についてもあわせてご報告いたします。

## ① 新規採用医薬品について

エンレスト錠 200mg (心不全センター)

薬効： アンジオテンシン受容体ネプリライシン阻害薬 (ARNI)

申請理由： 慢性心不全に対する目標用量は 200mg×2、高血圧症に対する用量は 200mg/日であり、200mg 錠を使用する患者が増加しているため。

採用中止薬剤： ロングス錠 10mg 【院外限定へ】

マンジャロ皮下注 2.5mg・5mg アテオス (糖尿病センター)

薬効： 持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬

申請理由： 世界初の持続性 GIP/GLP-1 受容体作動薬。週 1 回皮下注により既存トルリシティに比較し、優れた HbA1C 低下、体重低下が認められる。

採用中止薬剤： バイエッタ皮下注 10 $\mu$ g ペン 300 300 $\mu$ g (10 $\mu$ g) 【院外限定へ】

ケシンプタ皮下注 20mg ペン (脳神経内科) 【院外限定】

薬効： 多発性硬化症治療剤/ヒト型抗 CD20 モノクローナル抗体

申請理由： 多発性硬化症に対する新規の予防薬であり、再発予防効果が高いため。

採用中止薬剤： なし

シルガード9 水性懸濁筋注シリンジ (小児科)

薬効： ウイルスワクチン類

申請理由： 子宮頸癌 9 価ワクチンであり、定期接種が可能となったため。

採用中止薬剤： ガーダシル水性懸濁筋注シリンジ

パキロビッドパック 600/パキロビッドパック 300 (総合診療センター)

薬効： 抗ウイルス剤

申請理由： 国管理のパキロビッドが終了となり、一般流通となったため。

採用中止薬剤： 国管理のパキロビッド

## ② パキロビッドについて

- ・ 3/22 より一般流通が開始
- ・ 国からの配布在庫に関しては引き続き使用可能 (保険請求不可)
- ・ 一般流通薬はパキロビッドパック 600 (腎機能正常) /パキロビッドパック 300 (腎機能低下) の 2 規格となる (国配布の在庫終了次第処方可、FOCUS 等でお知らせします)
- ・ 一般流通薬は外来患者は原則院外処方
- ・ 同意書は引き続き必要
- ・ 登録センターへの患者情報入力は不要

### ③使用成績調査について

1. 調査区分：一般使用成績調査（心不全）（再審査用）
2. 医薬品名：サムタス点滴静注用 8mg・16mg
3. 調査目的：ループ利尿薬等の他の利尿薬で効果不十分な心不全における体液貯留の患者にサムタス（以下、本剤）を使用した症例について使用実態下における安全性を確認する。
4. 調査予定期間：  
調査期間：2023年2月～2026年7月（3年6ヵ月間）  
登録期間：2023年2月～2026年1月（3年間）
5. 予定症例数：5例（全国1600例中）
6. 調査責任医師：田口晴之  
調査分担医師：花谷彰久、堂上友紀、竹下宏明、山下智子、戎野和之、平山駿、田中梨穂子、岡田夏実、松本浩太郎

1. 調査区分：特定使用成績調査
2. 医薬品名：エジヤイモ点滴静注 1.1g
3. 調査目的：寒冷凝集素症（Cold agglutinin disease; CAD）患者に対する本剤の使用実態下における安全性、有効性に関する情報を収集する。
4. 調査予定期間：各症例の標準的な観察期間は本剤投与開始後2年間とする  
登録期間：販売開始から調査予定症例数の登録が完了するまで（2025年8月終了予定）
5. 予定症例数：1例
6. 調査責任医師：麥谷安津子  
調査分担医師：原田尚憲、白神大志、喜澤佑介、出田悠人

1. 調査区分：一般使用成績調査
2. 医薬品名：デファイテリオ静注 200 mg
3. 調査目的：使用実態下における本剤投与による重篤な出血性事象発現及び低血圧発現に影響を与えると考えられる背景因子を検討する。
4. 調査方法：全例調査方式  
調査予定期間：契約締結日～西暦2025年8月31日
5. 調査目標症例：3症例
6. 担当医師名：麥谷安津子、原田尚憲、白神大志、喜澤佑介、出田悠人

1. 調査区分：使用成績調査
2. 医薬品名：ジーラスタ皮下注 3.6 mg
3. 調査目的：同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員及び採取を目的に、本剤をドナーに投与した際の使用実態下での安全性についての確認。
4. 調査予定期間：本剤の効能効果「同種末梢血幹細胞移植のための造血幹細胞の末梢血中への動員」の承認日以降、本調査の目標ドナー数に到達するまで  
登録期間：厚生労働省より承認条件が解除となるまで  
観察期間：本剤投与後32～34日間
5. 予定症例数：全例登録
6. 調査責任医師：麥谷安津子  
調査分担医師：原田尚憲、白神大志、喜澤佑介、出田悠人、芝野郁美